2018年3月30日

神奈川県ラグビースクール

校長各位 コーチ各位 運営スタッフ各位

神奈川県ラグビーフットボール協会

普及育成委員長 角田 誠

2018年度ラグビースクール運営についてのお願い

拝啓、平素は神奈川県ラグビーの普及育成につきまして多大なるご尽力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、ラグビーワールドカップ 2019™の開幕まで、あと1年半を切りました。神奈川県ラグビースクールの皆様には、決勝戦・準決勝の神奈川県・横浜市の開催を受けて、世界トップレベルのラグビーを貴スクールの選手、関係者とともに地元で体感できる期待に胸をふくらませていることと拝察いたします。

2018年度を迎えるにあたり、ラグビースクール運営について、下記のお願いをさせていただきます。スクール内でご周知徹底のうえ、運営に取り組んでいただきたくお願い申し上げます。

敬具

記

昨今、ラグビーワールドカップ 2019™の「レガシー」というキーワードが盛んに論じられています。「遺産」とも訳され、ワールドカップ日本大会が残す財産や成果ともいえま。街中がラグビーのお祭りのように盛り上がるなか、世界最高峰の試合を日本で、地元神奈川県で観戦できることは、一生の思い出になることでしょう。しかしワールドカップの大会を経験することにより、私たちがもっとも欲しいもの残したいものはなんでしょう。その答えは、各自の心のなかにあるはずであり、ワールドカップ日本開催という一生に一度と言われるラグビーの祭典に高揚する前に、「ラグビー人として、こうありたい、こうなりたい。」という本当の答えを深く求めて考えてみたいものです。

スクール活動を通して、ラグビーの普及育成に携わる私たちの本当の希望とは、なんでしょう。ラグビーの素晴らしさを一人でも多くの子どものに知ってもらいたい、そしてラグビーをがんばることで一人でも多くの子どものに成長してもらいたい。それこそが私たちの本当の希望ではないでしょうか。

ラグビーを経験することは、からだの成長だけでなく、心の成長に計り知れない良い影響があることを、私たちラグビースクール指導者は全員が認識しています。

来年2019年9月20日にワールドカップが開幕し、ひっきりなしにラグビーの話題やニュースが流れます。ラグビースクールにはたくさんの体験希望や入校希望者が増えるでし

よう。2015年南アフリカに日本代表が勝利したブライトンの奇跡と言われたあの当時、1割～2割スクール生が増えたことは記憶に新しいところです。

2019年自国開催で日本代表がティア1の国をやぶって決勝トーナメントに進出することがあったら、2015年の比ではありません。勝ち負けの結果はどうあれ、観た方々を感動させる試合ができれば、ラグビーをやってみたい子どもが増えることは必至です。

実際に2011年NZ、2015年イングランドでは、子どもたちのラグビー人口が増えました。しかし1年後2年後には元に戻ってしまったというレポートが報告されています。本来なら友達が友達を呼ぶキッズスポーツでは、一時的にでも競技人口が増えれば、それを機会に増え続けるはずですが、そうならなかった理由は、受け入れする体制ができていなかったからではないかと考えられています。

私たちは2019年、わずか数か月の間に3割以上の生徒数が増えることを真剣に想像する必要があります。実際にその時が来た時に、「こんなに子どもたちが増えるのは想定外、とても対応できない」と言わないための準備が大切です。ラグビースクール関係者は、2018年度中に来年生徒数が増えることに対応できる十分な準備し、万全の態勢で2019年度を迎えましょう。神奈川県にラグビースクールの種を蒔き育ててくれた多くの先輩の思いに報いるためにも、この大きなチャンスを最大限生かす責任を全うしましょう。

来たる生徒数増加に対応するため、2018年度中に実行したいことは次の4点です。

①コーチの増員

新しいコーチの人数確保。特に幼児～小学生低学年対象コーチの増員確保。

②コーチの技術的資質の向上

コーチ全員のスタートコーチ取得。資格が目的でなくコーチ技術の向学心を体得する。2018年度県内スタートコーチ取得講習会及びブラッシュアップ講習会の複数回実施をコーチ委員会にて計画中。

③安全対策推進の徹底

安全推進講習内容をチーム内で共有する。スクールとしての安全推進計画を策定し実施する。それを保護者向けに説明。

④ホームページやSNSの充実と効果的運用

スクールの理念、指導方針などを明確に発信。定期的な情報発信。価値あるスクール活動を実施することは重要ですが、それをしっかり広報することは同様に大切です。

※上記の他にも皆様のご経験とアイデアで取り組んでいただきたいと思います。

ラグビーをやってみたい、と思い立って、せっかく勇気を出してラグビースクールの門をたたいてくれた未来のラグーマンを失望させないために、自らでできる限りすべての準備を進めて、ラグビーワールドカップ2019™を迎えましょう。ラグビー普及の成否を左右するカギは、2018年度の準備にて決定されるものにご理解いただき、ラグビースクール関係者皆様のさらなるご奮起をお願い申し上げます。力合わせてがんばりましょう。